


公共施設カルテ 施設別データ

施設基本情報 防災施設-1

施設名称	通しNo. 670 高知市種崎地区津波避難センター		
所在地	種崎405-6	担当部署	地域防災推進課
開設時期	2009年	利用面積	725㎡
施設分類	防災施設		
目的機能	南海トラフ地震等による津波等から市民の生命及び身体を守り、並びに市民の防災意識の向上に寄与するため、高知市津波避難センターを設置する。		 <p>撮影日: 7月 2017 © 2018 Google Google</p>
避難時指定	指定緊急避難場所 指定避難所		
津波浸水深	2.0~3.0m		

施設収支情報(2019年度)

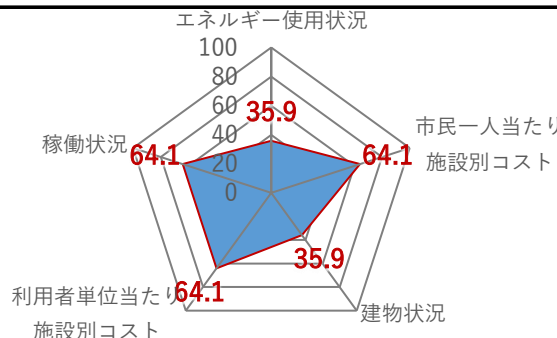
①収入		0 千円
②支出		1,888 千円
③減価償却費		2,729 千円/年
④施設別コスト	$[(②+③)-①]$	4,617 千円
⑤市民1人当たり施設別コスト	$[④ \div \text{高知市人口}]$	14 円/人

利用状況(2019年度)

⑥年間利用数	利用申請数	290 件/年
⑦利用数単位当たり施設別コスト	$[④ \div ⑥]$	15,921 円/件

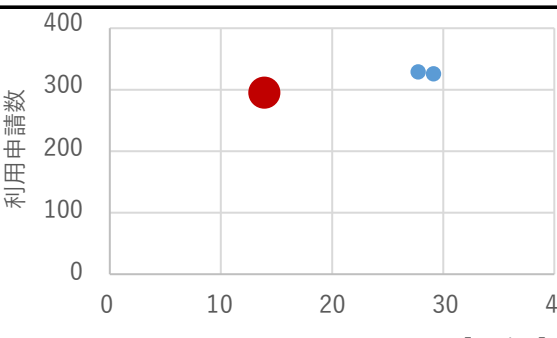
総合評価(2019年度)

レーダーチャート(同分類施設との偏差値を掲載)



エネルギー使用状況: 35.9
市民一人当たり施設別コスト: 64.1
稼働状況: 64.1
利用者単位当たり施設別コスト: 64.1
建物状況: 35.9

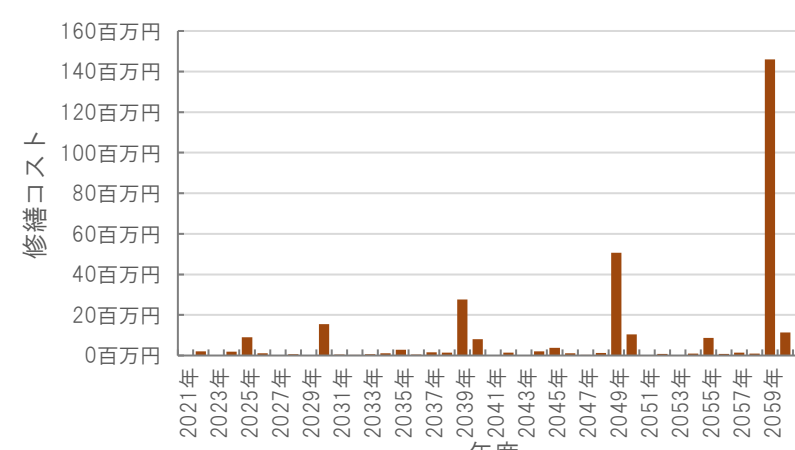
二軸グラフ(同分類施設との比較)



利用申請数 (y軸)

市民一人当たり施設別コスト[円/人] (x軸)

維持管理費等試算額



修繕コスト

年度

[今後40年間の試算額合計]

運用コスト計	258,410 千円
修繕コスト計	316,983 千円
合計	575,394 千円

運用コスト: 法令点検, 定期点検, 日常点検, 清掃, 光熱費, 消耗品費等

修繕コスト: 建築, 電気設備, 機械設備の修繕更新, 長寿命化改修費用

※建物を目標耐用年数(RC80年目, その他は60年)まで維持管理した場合の試算額です。

※建て替え及び解体費用は試算額へは含みません。

公共施設カルテ 施設別データ

施設基本情報 防災施設-2

施設名称	通しNo. 887 種崎地区舟倉津波避難センター		
所在地	仁井田1646-14	担当部署	地域防災推進課
開設時期	2017年	利用面積	1,498㎡
施設分類	防災施設		
目的機能	南海トラフ地震等による津波等から市民の生命及び身体を守り、並びに市民の防災意識の向上に寄与するため、高知市津波避難センターを設置する。		
避難時指定	指定緊急避難場所 指定避難所		
津波浸水深	3.0m～		



施設収支情報(2019年度)

①収入	0 千円
②支出	1,898 千円
③減価償却費	7,659 千円/年
④施設別コスト	$[(②+③)-①]$ 9,557 千円
⑤市民1人当たり施設別コスト	$[④ \div \text{高知市人口}]$ 29 円/人

利用状況(2019年度)

⑥年間利用数	利用申請数	326 件/年
⑦利用数単位当たり施設別コスト	$[④ \div ⑥]$	29,316 円/件

総合評価(2019年度)

レーダーチャート(同分類施設との偏差値を掲載)

エネルギー使用状況: 57.5
市民一人当たり施設別コスト: 41.9
建物状況: 57.1
利用者単位当たり施設別コスト: 41.6
稼働状況: 41.9

二軸グラフ(同分類施設との比較)

利用申請数: 326
市民一人当たり施設別コスト[円/人]: 29

維持管理費等試算額

年度: 2021年, 2023年, 2025年, 2027年, 2029年, 2031年, 2033年, 2035年, 2037年, 2039年, 2041年, 2043年, 2045年, 2047年, 2049年, 2051年, 2053年, 2055年, 2057年, 2059年

[今後40年間の試算額合計]

運用コスト計	533,968 千円
修繕コスト計	311,104 千円
合計	845,071 千円

運用コスト: 法令点検, 定期点検, 日常点検, 清掃, 光熱費, 消耗品費等
修繕コスト: 建築, 電気設備, 機械設備の修繕更新, 長寿命化改修費用

※建物を目標耐用年数(RC80年目, その他は60年)まで維持管理した場合の試算額です。
※建て替え及び解体費用は試算額へは含みません。

公共施設カルテ 施設別データ

施設基本情報 防災施設-3

施設名称	種崎地区貴船ノ森津波避難センター 通しNo. 888		
所在地	種崎662-6	担当部署	地域防災推進課
開設時期	2017年	利用面積	1,346㎡
施設分類	防災施設		
目的機能	南海トラフ地震等による津波等から市民の生命及び身体を守り、並びに市民の防災意識の向上に寄与するため、高知市津波避難センターを設置する。		
避難時指定	指定緊急避難場所 指定避難所		
津波浸水深	3.0m～		



施設収支情報(2019年度)

①収入	0 千円
②支出	1,768 千円
③減価償却費	7,332 千円/年
④施設別コスト	$[(②+③)-①]$ 9,100 千円
⑤市民1人当たり施設別コスト	$[④ \div \text{高知市人口}]$ 28 円/人

利用状況(2019年度)

⑥年間利用数	利用申請数	329 件/年
⑦利用数単位当たり施設別コスト	$[④ \div ⑥]$	27,660 円/件

総合評価(2019年度)

レーダーチャート(同分類施設との偏差値を掲載)

エネルギー使用状況: 56.6
市民一人当たり施設別コスト: 44.0
建物状況: 57.1
利用者単位当たり施設別コスト: 44.4
稼働状況: 44.1

二軸グラフ(同分類施設との比較)

市民一人当たり施設別コスト[円/人]

維持管理費等試算額

年度

[今後40年間の試算額合計]

運用コスト計	479,930 千円
修繕コスト計	279,620 千円
合計	759,550 千円

運用コスト: 法令点検, 定期点検, 日常点検, 清掃, 光熱費, 消耗品費等
修繕コスト: 建築, 電気設備, 機械設備の修繕更新, 長寿命化改修費用

※建物を目標耐用年数(RC80年目, その他は60年)まで維持管理した場合の試算額です。
※建て替え及び解体費用は試算額へは含みません。